





























アレルギー疾患において原因となりやすい アレルゲンをバランスよく搭載

Thermo Scientific™ Viewアレルギー39™ は、アレルギー疾患において原因となりやすいアレルゲンへの感作を一度に調べることができます。

吸入系・その他				食物系							
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1		イネ科 植 物	カモガヤ オオアワガエリ		卵	卵白 オボムコイド		豆 類	大豆 ピーナッツ	 
動 物	ネコ皮膚 イヌ皮膚	 	雑 草	ブタクサ ヨモギ	 	牛 乳	ミルク		肉 類	鶏肉 牛肉 豚肉	  
昆 虫	ガ ゴキブリ	 	真 菌	アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ、マラセチア(属)		穀 類	小麦 ソバ 米	  	魚 類	マグロ サケ サバ	
樹 木	スギ、ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属)	 	職業性	ラテックス		甲殻類	エビ カニ	 	果 物	キウイ リンゴ バナナ	  
									その他	ゴマ	

吸入系 その他アレルゲン

疫学調査において高い陽性率を示すアレルゲンや、疾患や病態に関与する重要なアレルゲンを搭載しています。

注意すべき時期		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1	陽性率が高く、代表的な室内アレルゲン											
動 物	ネコ皮膚、イヌ皮膚												
昆 虫	ガ ゴキブリ	陽性率が比較的高く、 認知度が高まりつつあるアレルゲン											
樹 木	スギ	春に飛散する代表的な花粉											
	ヒノキ												
	ハンノキ(属)	春の花粉症のみならず、PFAS*の 主な原因アレルゲンとして知られる											
	シラカンバ(属)												
イネ科 植 物	カモガヤ、オオアワガエリ	初夏から秋に飛散する代表的な花粉											
雑 草	ブタクサ、ヨモギ	晩夏から秋にかけて飛散する代表的な花粉											
真 菌	アルテルナリア、アスペルギルス	気管支喘息やアトピー性皮膚炎に関与する アレルゲン											
	カンジダ、マラセチア(属)	皮膚常在菌											
職業性	ラテックス	まれにアナフィラキシーショックを引き 起こし、LFS*の原因アレルゲンとなる											
		使用時に注意											

*PFAS：花粉-食物アレルギー症候群、LFS：ラテックス-フルーツ症候群

食物系アレルゲン

食品衛生法に基づき表示が義務づけられている特定原材料7品目全てと特定原材料に準ずるものに含まれる10品目を含むアレルゲンを搭載しています。

特定原材料	特定原材料に準ずるもの	その他
 卵 (卵白、オボムコイド)  乳  小麦  ソバ	 鶏肉  牛肉  豚肉  サケ  サバ	 米
 エビ  カニ  落花生 (ピーナッツ)	 大豆  キウイ  リンゴ  バナナ  ゴマ	 マグロ